

様式2) 中長期計画に対する自己評価 (1 ページ以内) ※計画策定から1年以上のプラットフォームのみ記入	
A	<p>全体評価</p> <p>S：当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。 A：当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。 B：当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。 C：当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。 D：当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。</p>
評価理由	<p>当プラットフォーム（「ひょうご産官学連携協議会」以下、「当協議会」という。）構成メンバーのうち、大学のプラットフォームである一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸（以下、「当コンソ」という。）では、加盟1大学の併合、1大学の退会により、加盟校は38大学等となり、県下53大学等の内71%が加盟となった。</p> <p>当協議会では、中長期計画において10課題を設定し、課題を解決するために14の取組を計画・実施している。2020年10月末日現在までの実施状況について、S評価：2取組、A評価：9取組、B評価：3取組、C、D評価はなしと評価した。 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により当初計画通り実施できないプログラムが多く発生したが、担当委員会や参加学生とともに知恵を出し合い、オンラインにて代替プログラムを実施するなど、可能な限り課題の解決に取り組んだ。その結果、全体としては5年間の中長期計画の4年目として課題解決に向けて着実に実行しており、目標に対し十分な成果が見込めるとの判断でA評価とした。</p> <p>各取組について、当協議会の評価及び改善の手順に則り、次年度に向けて適宜見直しを行うとともに、各課題の解決のため、地域の自治体（兵庫県）との連携強化を図るとともに、当コンソの賛助会員の増加を含め地域の産業界との更なる連携強化に努める。</p>
評価に関する備考 (考慮すべき事項)	
<p>当協議会では、各取組を当コンソの各事業委員会にて分担して実施しているため、課題の解決に向けて各事業委員会が情報共有し、連携を密にして進めることが重要である。このことを踏まえ、現在の中長期計画が終了する2021年度以降の計画及び実施体制について、当コンソの理事会を中心に検討を開始している。</p>	

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入																																																		
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考																																													
①地域の活性化のための県内企業就職率の向上	県内企業就職率：33.0% (2021年度)	<p>(取組1) 若者の地元定着のための就職支援事業</p> <p>兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者で、約2万人いる県内大学卒業者のうちの『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。この県内企業就職率を引き上げ、若者の県内定着を促進することで、地域の活性化を実現する。</p> <p>○大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会 ・企業とキャリアセンターとの意見交換会 ・魅力ある県内中小企業訪問 <p>○大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会 ・企業と学生との意見交換会 <p>[平成28年・年齢別転入・転出数 (兵庫県)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>総数</th> <th>0～9歳</th> <th>10～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転入</td> <td>85,933</td> <td>9,050</td> <td>5,753</td> <td>30,082</td> <td>19,314</td> <td>10,204</td> <td>5,182</td> <td>6,348</td> </tr> <tr> <td>転出</td> <td>92,693</td> <td>8,457</td> <td>5,924</td> <td>35,825</td> <td>20,268</td> <td>10,451</td> <td>5,218</td> <td>6,550</td> </tr> <tr> <td>転出超過</td> <td>6,760</td> <td>△593</td> <td>171</td> <td>5,743</td> <td>954</td> <td>247</td> <td>36</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>(142)転出超過</td> <td>7,409</td> <td>△196</td> <td>△164</td> <td>5,518</td> <td>1,399</td> <td>574</td> <td>30</td> <td>249</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：総務省「住民基本台帳人口移動」</p>	区分	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	転入	85,933	9,050	5,753	30,082	19,314	10,204	5,182	6,348	転出	92,693	8,457	5,924	35,825	20,268	10,451	5,218	6,550	転出超過	6,760	△593	171	5,743	954	247	36	202	(142)転出超過	7,409	△196	△164	5,518	1,399	574	30	249	<p>(取組1の活動指標)</p> <p>取組への参加学生教職員数：平成29(2017)年度実績をベースに毎年5%増</p> <p>※H29年度実績： 学生数：562名 教職員数：72名</p> <p>→2020年度活動指標： 学生数：650名 教職員数：83名</p>	<p>※県内企業就職率の2019年度実績：28.2%</p> <p>県内企業就職率の向上のため、第一段階の取り組みとして、当協議会加盟校教職員及び学生に対する県内企業の理解促進に向けた取り組みを、以下の通り実施した。</p> <p>■実施プログラム</p> <p>2019年度 参加者数：1157名 (学生数：636名教職員数：152名)</p> <p>2020年度 参加者数：212名 (学生数：160名教職員数：17名)</p> <p>【大学キャリアセンター対象】</p> <p>●意見交換会</p> <p>①「企業と学校法人との就職情報交換会 in KOBE (神戸商工会議所)」 2019/10/29 参加教職員：20校32名、参加企業：78社123名</p> <p>②「キャリアと企業の情報交換会 (淡路商工会)」2019/11/29 参加教職員：14校14名、参加企業：8社9名、行政・経済団体：2団体3名</p> <p>③「企業×大学意見交換会」 2019/12/7 参加学生：2校10名、参加教職員：9校12名、参加企業：14社26名、行政・経済団体：1団体2名</p> <p>④「キャリアと企業の情報交換会 (丹波県民局)」2020/2/4 参加教職員：21校22名、参加企業：29社40名、行政・経済団体：8団体13名</p> <p>⑤「企業×大学意見交換会」 2020/2/15 参加学生：2校15名、参加教職員：16校17名、参加企業：21社30名</p> <p>⑥「企業×大学オンライン意見交換会」 2020/4/27 参加教職員：10校13名、参加企業：</p>	B
区分	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～																																										
転入	85,933	9,050	5,753	30,082	19,314	10,204	5,182	6,348																																										
転出	92,693	8,457	5,924	35,825	20,268	10,451	5,218	6,550																																										
転出超過	6,760	△593	171	5,743	954	247	36	202																																										
(142)転出超過	7,409	△196	△164	5,518	1,399	574	30	249																																										

				<p>9社11名</p> <p>⑦「企業×大学オンライン意見交換会」 2020/10/30 開催予定</p> <p>●中小企業訪問バスツアー</p> <p>①「県内の隠れた名企業発見ツアー」 「LET'S GO TO TAJIMA!」2019/9/17 訪問企業：(株) 由利 (株) 東豊精工 参加学生：5校 62名、参加行政・団体：2団体 4名</p> <p>②「兵庫県内企業魅力発見バスツアー」 2019/9/19 訪問企業：(株) センコー、(株) ロック・フィールド 参加学生：6校 39名、参加教職員：5校 14名、行政・団体：1団体 2名</p> <p>③「留学生丹波篠山バスツアー」 2019/10/19 (株) 御座候 訪問 参加学生：9校 33名、参加教職員：1校 1名、参加行政・団体：1団体 1名、その他：1名</p> <p>④「兵庫県内企業魅力発見動画作成」新型コロナ感染拡大防止のため現地訪問→動画による企業紹介に変更 2020/10 丹波篠山の3企業作成予定 【大学生対象】</p> <p>●合同企業説明会 「ひょうご就職サミット2021」 2020/10 開催予定</p> <p>●大学生との意見交換会（企業(社長)から学ぶ研修会)</p> <p>①「就活応援・コミュニケーションUPプログラム」2019/12/21 参加学生：8校 12名、参加企業：6社 7名行政・経済団体：1団体 1名</p> <p>②「経営者人事のパネルディスカッション」2020/2/15 参加学生：23校 101名参加教職員：12校 13名、参加企業：21社 32名、行政・経済団体：1団体 1名</p> <p>③「モチベーションをあげる会」オンライン開催 2020/5/28 参加学生：15校 80名参加教職員：2校 2名、参加企業：2社 4名</p>	
--	--	--	--	--	--

				行政・経済団体：4団体5名 ●企業（若手社員）から学ぶ研修会 ①「大学生が聞きたい社会人のリアル」 2019/12/5 参加学生：6校29名、参加教職員： 1校1名、参加企業数：5社8名 行政・経済団体：1団体1名 ②「合同模擬グループディスカッ ション」2020/2/15 参加学生：23校101名、参加教職員： 12校13名、参加企業：21社32名 行政・経済団体：1団体1名 ③「面接大作戦」2020/2/15 参加学生：23校100名、参加教職員： 12校13名、参加企業：20社31名 行政・経済団体：1団体1名 ④「コロナ後も企業が欲しい人材 とは？」オンライン開催 2020/5/28 参加学生：15校80名、参加教職員： 2校2名、参加企業：7社11名 行政・経済団体：5団体4名	
②地域の活性化のためのUJI ターンの就職の 促進	情報公開する企 業数：100社 (2021年度)	(取組1) 県内企業の情報発信の強化 ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の 産業界の協力を得て県内企業情報を収集し、 大学プラットフォーム(大学コンソーシアムひ ょうご神戸)HPにおいて公表し、兵庫県のUJI ターンの職業紹介等のHPとの連携を図る。	情報公開する企業数：15社 (2020年度)	●「地元で働こう！兵庫県内企業 情報サイト」に随時情報公開。 《掲載内容》業種、資本金、売上 高、従業員数、本社所在地、事業 内容、経営方針、特色・強み、採 用情報(企業HPへリンク) ※兵庫県内企業78社掲載 2020年度は、既にHP掲載している 企業の、コロナにおける採用活動 の変更を掲載。新規企業掲載に向 けてキャリアセンターと準備を進 めている。	A

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

<p>③ 大学進学者の県内残留と円滑な高大接続</p>	<p>県内大学等の情報提供を受けた学生数:200名(2021年度までのべ数)</p>	<p>(取組1) 高大連携事業(ひょうご高校大学コンソーシアム) 兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換会(進路指導協議会)や県内各地での合同説明会等の開催や県内大学の情報提供などを通じて県内大学進学率の向上を図る。</p>	<p>ひょうご高校大学コンソーシアム意見交換会の年1回以上の開催 合同説明会の開催等:1回(2020年度)</p>	<p>●兵庫県内合同進学相談会 2020/2/11 14大学 22名参加 ●「ひょうご高校大学コンソーシアム」 「2021年度入学選抜者改革の行方と新学習指導要領について」 2020/3/10 新型コロナウイルス感染症で中止 →2020年度後期での開催検討中 ●大学コンソーシアムひょうご神戸 HPへの各大学オープンキャンパス情報等の掲載を通じて、県内大学等の情報提供を実施。 ●第1回高大連携委員会(持回り審議(2020/5/15))にて、2020年度事業計画において「ひょうご高校大学コンソーシアム」の開催を審議承認。</p>	<p>A</p>
<p>④ 高等教育機会の偏在への対応</p>	<p>開講科目数:10科目(2021年度までのべ数)</p>	<p>(取組1) 単位互換事業(共通講座の開講) 県内の大学に通う学生に、幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、以下の取組を行う。 (1) 兵庫県の地域特性や各大学の特徴を活かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業の実施。 (2) 多様な学修機会の提供(ICTを活用したコンテンツ、医療・看護系学生むけプログラム等)</p>	<p>ICTを活用したコンテンツ及び医療・看護系公開講座等の提供</p>	<p>●単位互換事業 2019年度開講 45科目 14大学 履修者数 16名 6大学 2020年度開講 41科目:15大学 履修者:前期、新型コロナで募集中止。後期、開講可能な科目のみ募集 ●多様な学習機会の提供 [2019年度からの新規事業] ・ICTを活用したコンテンツ 2019年度 教育連携委員会委員校7校を対象とした「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」トライアル実施を決定 2020年度 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」の試行運用を教育連携委員会委員校7校を対象に実施中。また、大学コンソーシアムひょうご神戸全加盟校を対象に同教育システムの閲覧期間を2020年度に設け、2021年度の試行運用を目指す予定であったが、コロナウイルス感染拡大の影響を受け、それぞれ1年先延ばしを決定 ・医療・看護系学生向けプログラム 2019年度 2大学3プログラムを公開 2020年度 新型コロナウイルス感染症により各プロ</p>	<p>A 2020年度前期は新型コロナウイルス感染症の影響により大半の事業が中止・延期せざるを得なかったため、評価は2019年度実績により実施</p>

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

				<p>グラムが中止・延期される中ではあるが、1プログラムを公開</p>	
<p>⑤地域の防災等を担う人材の育成</p>	<p>「ひょうご災害・防災リーダー」認定学生数：50名 (2021年度までののべ数)</p>	<p>(取組1) 阪神・淡路大震災の経験を有する兵庫県で地域の防災等を担う人材養成プログラムを実施する。 プラットフォーム参画大学の学生と県内外の各団体が連携し、阪神・淡路大震災の経験、教訓を学ぶ場の提供や東日本大震災や岡山豪雨災害等での実際の支援活動に取り組み、被災地の復興支援の体験やそこから派生する防災への取り組みを学び、自主的且つ自発的に活動に取り組める学生を育成するとともに災害・防災リーダーを養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災について学ぶ場や県内でのボランティア研修により、実質的なボランティアを企画・実施。 ・宮城県名取市、岡山県倉敷市等でのボランティア活動の継続により、時間経過に伴うニーズの変化や復興の過程を学ぶ。 ・震災直後やその後の復興の過程を学ぶとともに、今後の防災・減災に向けて何ができるのかを考え、実践に移せる「ひょうご災害・防災リーダー」を養成。 <p>※「ひょうご災害・防災リーダー」 2年以上継続して活動に取り組み、リーダー研修の受講及び各グループ活動での実践的取り組みを最後まで遂行した学生。</p>	<p>プログラム参加学生数：(年50名程度、250名(2021年度までののべ人数))</p> <p>2017年度：42名 2018年度：40名 2019年度：49名</p>	<p>ひょうご災害・災害リーダー 2017年度:10名 2018年度:9名 2019年度:6名 計25名</p> <p>■実施プログラム 2018年度から学生災害ボランティア・ネットワーク事業として活動を展開。</p> <p>●2019年度 学生49名(内学生スタッフ6名)参画 ・研修会5回開催(4月～6月) ・宮城、岡山での事前ヒアリング(6月) ・名取市閑上(8/25)での活動実施 ・倉敷市真備(8/31)での活動実施 ・振り返りの会、終了証書授与(9月)</p> <p>●2020年度 ・学生スタッフ8名、6月からオンラインでの活動を開始 ・8/29、30に合同ボランティア研修会を学生スタッフの企画・運営で開催。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により当初プログラムを大幅に見直し、10月から参加学生を募集、2021年2月～3月での活動実施に向けて準備を進めている。</p>	A
<p>⑥地域で活躍できる人材の育成</p>	<p>リーダー(企画・運営を担える人材)の育成:50名/年</p>	<p>(取組1) 地域(子どもやその保護者等)との交流を図るイベントを企画・運営し、異世代交流の体験を通じた幅広いコミュニケーション力、前に踏み出す力(アクション)、考え抜く力(シンキング)、チームで働く力(チームワーク)を、実践によって身につけさせ、地域で活躍できる人材を育成する。 参加学生には地域の子どもの状況やその背景についても学ぶ機会を提供することにより地域における子どもの現状(少子化等)と課題を踏まえた取り組みに繋げる。</p> <p>※「リーダー(企画・運営を担える人材)」 イベントの参加学生のうち、実行委員として当該イベントに関する企画、各種調整・交渉、運営等を担った学生。</p>	<p>参加団体数：15団体/年 参加者(親子)数：500名(2020年度)</p>	<p>●「キッズフェスティバル 2019」 (2019/12/1)開催 12大学22団体が19ブース(4ブースが合同)出展 学生217名、親子555名 (子ども331名、保護者224名)</p> <p>●「キッズフェスティバル 2020」 (2020/12/6)開催予定 新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小しての開催を予定。オンラインによる動画配信も、新たに計画中。</p>	A

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

<p>⑦ 地域産業ニーズに対応した人材育成</p>	<p>地域産業ニーズをまとめた資料をHPで閲覧、もしくは資料配布を受けた学生数： 10,000名（2021年度までののべ数）</p>	<p>（取組1）地域産業のニーズ調査 ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て、県内企業が求める人材、大学において習得すべき知識・技能についての情報を収集し、大学プラットフォーム（大学コンソーシアムひょうご神戸）HPにおいて公表するとともに、大学、企業との情報共有の場を設ける。</p>	<p>産業界と大学キャリア担当者の情報交換会の開催：4回（2020年度） 10回実施（2021年度までののべ数） *2019年度までの実績：11回実施 地域産業ニーズをまとめた資料の作成・配布：3000名（2020年度） *2019年度までの配布実績4,87</p>	<p>●企業の人材確保状況（面接数、内定数、採用数等）や、求める人材像や、大学において習得すべき知識・技能について行った調査結果を分析しHP公開。 2019年度HP・SNS閲覧数：922 チラシ配布数：3,950 2020年度HP閲覧数：7,548 チラシ配布数：200（2020/10現在） ●公開内容に基づいて、大学、企業との情報共有の場として年4回情報交換会を開催。 2019年度：6回 参加者数：411名 2020年度：4回 参加者数：24名</p>	<p>S</p>
<p>⑧ 地域企業経営者による実践的講座の提供</p>	<p>プログラム参加学生数：300名（2021年度までののべ数）</p>	<p>（取組1）経営者による職業観形成プログラム ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て、企業経営者を講師として講座を開講する。経営者の理念や思いをお聞きし、実社会を学ぶ。ICTを活用した教育の推進も検討する。</p>	<p>地域の企業経営者によるセミナーの開催2回（2020年度） *2019年度までの 参加学生実績：368名 セミナー実施回数：11回</p>	<p>●実践的講座の開講 2019年度：4回参加者数：233名 学生数：175名 教職員数：13名 2020年度：2回 参加者数：91名 学生数：80名 教職員数：2名 県内中小企業の経営者が、地域に根差した先進的・実践的な自社の取組や課題解決事例等、直接学生に講話し、学生の地元意識の高揚を図る。 2020年度は 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ZOOMを活用することで、遠隔地に滞在中の講師と学生をつなぎ、講座を受講できるネット環境を準備した。 「モチベをあげる会」オンライン開催 2020/5/28 参加学生：15校80名、参加教職員：2校2名、参加企業：3社5名 行政・経済団体：3団体4名 ●「ひょうご就職サミット2021」 2020/10開催予定</p>	<p>A</p>
<p>⑨ “ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル人材育成</p>	<p>本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 （期間中に2回</p>	<p>「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル人材育成を目指した事業を展開する。 （取組1）留学生支援プログラム（ひょうご留学生インターンシップ） 個別大学では実施が困難な留学生に特化したイ</p>	<p>参加留学生数： 10大学・35名以上（最大40名）/年 受入企業・団体等数： 20企業・団体以上（2020年度）</p>	<p>当協議会加盟校の学生の国際理解を深めるため、以下のプログラムを実施した。 2019年度参加留学生数：10校34名 （国際理解が深まった度合：93%） 受入企業・団体数：22 2020年度参加留学生数：7校19名 （国際理解が深まった度合：100%）</p>	<p>B</p>

	測定)	<p>ンターシップを共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業、団体等を決定する。</p>		<p>受入企業・団体数：11</p> <p>■実施プログラム 「ひょうご留学生インターンシップ」*事前訪問・実習以外はオンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力試験 N1 講座 ・推薦学生ガイダンス ・推薦学生面談 ・オリエンテーション・事前研修 ・実習前に実習先への事前訪問 ・企業・団体実習 ・事後研修／報告会 	
		<p>(取組2)プラットフォームを活用した留学生の日本・兵庫県内での就職促進事業 大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの受入環境づくりの促進と、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。</p>	<p>参加留学生：100名以上(2020年度)</p>	<p>■実施プログラム</p> <p>2019年度参加者：1,109名 参加留学生：943名 (国際理解が深まった度合：93%)</p> <p>2020年度参加者：780名 参加留学生：737名 (2020年10月末現在) (国際理解が深まった度合：94.4%)</p> <p>●合同企業説明会</p> <p>①留学生合同企業説明会(流通科学大学) 2019/10/19 参加留学生数：57名(加盟校3校57名)、参加企業数：9社</p> <p>②「国際都市 KOBE で働こう！外国人のための合同企業説明会」オンラインにて開催 2020/6/24、25 参加留学生：510名 (加盟校11校92名) 参加企業：19社</p> <p>●日本語能力試験N1 オンライン集中講座 2020/6、8、9 参加留学生：9校61名 参加教職員：1校3名 行政・経済団体：1団体3名</p> <p>●ビジネス日本語講座 オンライン開催</p> <p>①「外国人留学生のためのオンライン就職活動セミナー」2020/5/14 参加学生：10校43名 参加教職員：3校4名 参加企業：1社1名 行政・経済団体：1団体1名</p> <p>②「インターンシップ修了生との懇談</p>	S

				<p>会」 2020/6/10 参加学生:10校 33名 行政・経済団体:1団体 1名</p> <p>③「ビジネスマナー研修」 2020/6/27 参加学生:7校 22名 参加教職員:1校 1名 参加企業:1社 1名 行政・経済団体:1団体 1名</p> <p>④「ベトナム出身留学生のための オンラインキャリアセミナー」 2020/7/31 参加学生:5校 10名 参加教職員:3校 5名 行政・経済団体:2団体 2名</p> <p>●就職活動 Q&A 講座 オンライン開催</p> <p>①「インターンシップガイダンス」 2020/6/10 参加学生:9校 31名 行政・経済団体:1団体 1名</p> <p>②「推薦学生と企業の交流会」 2020/6/13 参加学生:9校 27名 参加教職員:2校 2名 参加企業:9社 15名 行政・経済団体:2団体 2名</p> <p>●但馬方面バスツアー</p> <p>①Let's go to TAJIMA ! 2019/9/16 参加学生:5校 31名 行政・経済団体:2団体 2名</p> <p>②「兵庫県内企業魅力発見動画作成」新型コロナ感染拡大防止のため現地訪問→動画による企業紹介に変更</p> <p>2020/11 但馬の2企業作成予定</p> <p>●先端産業企業見学バスツアー</p> <p>①キャタピラージャパン 1DAY インターンシップ 2019/9/19 参加学生:10校 27名 参加教職員:1校 1名 行政・経済団体:1団体 1名</p> <p>②「兵庫県内先端企業紹介動画作成」新型コロナ感染拡大防止のため現</p>
--	--	--	--	---

				<p>地訪問→動画による企業紹介に変更 2020/11 兵庫県内の1企業作成予定 ●グローバル人材育成セミナー ①キャタピラー・ジャパン 1DAY インターンシップ 2019/9/19 参加学生:10校 27名 参加教職員:1校 1名 行政・経済団体:1団体 1名 ②「外資×活躍する女性に聞くキャリアの作り方」オンライン開催 2020/12 予定 ●大学と企業との意見交換会 「外国人材の活用・マネジメント×留学生の成長を考える」*オンラインにて開催 2020/10/30 開催予定</p>	
		<p>(取組3)兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 大学連携による国際交流の拠点を、大学キャンパス外の地域社会に形成することで留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。</p>	<p>参加者数：500名以上（2020年度）</p>	<p>2019年度 参加者:410名 2020年度 参加者:558名 ●留学生・日本人学生交流プログラム:315名(計47回) ①オンラインミーティング:37名(4/27、5/1、6/17・計3回) ②オンラインサロン”Let’s talk”: 111名(5/15-29、6/10-9/16・計14回) ③オンライン日本語サロン「にほんごDEゴー」:84名(6/9-9/15・計15回) ④バーチャル英語村:71名(6/12-9/18・計13回) ⑤日本語deレッツトーク:12名(9/9-9/16・計2回) ●大学との連携・協働事業(甲南女子大):留学生との交流会:35名(6/24:17名,7/22:18名・計2回) ●キャリアカフェ Nada Global Village(NGV):計97名(6/29:9名、7/10:76名、8/29:12名・計3回) ②関西経済連合会共催「外国人留学生向け就職セミナー」:111名(5/31) ●留学生・国際交流情報の発信事業・支援者間ネットワークの体制整備 ①メマガ発信:計2回(各132名宛) ②緊急事態宣言解除後の留学生への</p>	<p>A</p>

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

		<p>(取組4) 学生海外派遣プログラム 日本は、衛生面・医療面で世界的に恵まれているが、国外において自らが体験することで医療に対する国際感覚を高める。 習慣・文化・社会が日本と大きく異なる国への訪問を通して自国の状況を客観的に判断可能になり、海外から学ぶべきこと また、海外で貢献できる点を理解し、問題解決能力を養う。</p>	<p>参加者数：2名（2020年度） （主催大学以外の学生数）</p>	<p>アンケート: 回答180名 ■実施プログラム 2019年度 参加者: 1名 2020年度: 新型コロナウイルス感染症影響のため中止</p>	B
<p>⑩ “ひょうご神戸” の特性を活かした教育力の向上</p>	<p>各取組への参加教職員数: 300名 (2021年度までののべ数)</p>	<p>プラットフォーム参画大学の教職員に多様な研修等の機会を提供するとともに加盟校教職員間のさらなる交流を促進する。</p> <p>(取組1) 加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、コンソ加盟校教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の交流を促進する。</p>	<p>加盟校に有益な公開セミナー開催数：1回（2020年度）</p>	<p>当協議会加盟校教職員の資質向上のため、以下のプログラムを実施。 ●2019年度セミナー情報の公開数 1件 テーマ地方大学に求められること、生き残る大学とは 2019/7/4 参加大学: 7校、参加者数: 70名 2020年度セミナー情報の公開数: 1件 ●テーマ: 社会人学生の入学をうながす 大学院・リカレント教育改革 2020/10/22 参加大学: 6校、参加者数 : 72名</p>	A
		<p>(取組2) 「大学運営」に関する科目の受講支援 プラットフォーム参画大学が開講する「大学運営」に関する科目の、プラットフォーム参画大学職員の受講を支援する。</p>	<p>「大学運営」科目の継続開講</p>	<p>●2019年度後期講座 受講数 当協議会加盟校から 5 大学 13 名 ●2020年度後期講座 受講数 当協議会加盟校から 3 大学 13 名</p>	A